

目 次

はしがき

第 I 部

本 質——テロリズムとは何か？

第 1 章	テロリズムの定義を再考する	2
1	4つの政治的暴力	2
2	テロリズムと私的暴力の重複	8
3	攻撃手法・武器	12
4	テロリズムの主体	14
5	テロリズムの定義	18
第 2 章	テロリストの大義とプロパガンダ	24
1	マスメディアとテロリストの共生関係	25
2	テロリズムの変容と SNS を利用するテロリズム	29
3	民主主義国家における自由と規制, リスクコミュニケーション	37
第 3 章	テロリストの目的と行動	41
1	テロリストは狂信者か合理的行為者か	41
2	ローン・アクター・テロリストの目的合理性——テロリズムの後継者の作り方	47
3	犯行のライブ配信——共感に最適化したテロリズムの継承方法	53

第II部

原因——テロ組織・テロリストはいかに生まれ、活性化するのか？

第4章	テロリズムの原因をどのように分析するのか？	60
1	貧困と抑圧がテロリズムの原因か	60
2	テロリズムのタイプが違えば原因も異なる	63
3	原因は主因・素因・誘因からなる	66
第5章	ヒトはなぜテロリストになるのか？	76
1	過激化研究の成立——古い酒に新しい革袋？	76
2	過激化の理論——過激化に対する理解の変遷	81
3	過激化対策の理論——実践との連携の模索	90
4	残された課題	98

第III部

対策——テロリズムにどう対応するのか？

第6章	テロ対策とは何か、それをいかに分析するか？	102
1	テロ対策の4つのフェーズ	102
2	テロ対策の国際・国内的構造	110
3	テロ対策研究の焦点	113
4	自由民主主義国家としてのテロ対策	121
第7章	どのようにテロリストと交渉するのか、 または鎮圧するのか？	124
1	非通常のテロ対策	124
2	懐柔策に関する事例と研究	125
3	強硬策に関する事例と研究	130

4	懐柔策と強硬策の併用	135
---	------------	-----

第8章 官民の連携・協力がなぜ必要なのか？ 143

1	官民連携・協力とは何か	143
2	テロ対策における官民連携・協力とは	146
3	民主主義国家における官民協力モデル	152

第9章 テロの現場で求められる救命とは何か？ 163

1	さまざまなテロの形とその対処	163
2	医療・科学技術のシーズ（できること）とニーズ（求められていること）	169
3	危機時のマニュアルと訓練のデザイン	174

第IV部

終焉——テロリズム、テロ組織はどのように変化し終わるのか？

第10章 テロリズムはいつ流行し、終息するのか？ 178

1	テロの終焉に対するアプローチ	178
2	テロの波	179
3	テロの波という捉え方は適切か	181
4	第5の波の到来	185
5	今後の研究に向けて	190

第11章 テロ組織の終わりと日本の視野 195

1	終わりに関する研究動向	195
2	テロ組織の多面性と変動性	198
3	テロ組織の4形態	201
4	「対テロ戦争」によるテロ組織の増殖	208
5	テロリズムの終わり、そして始まりに対する日本の視野	210

付 録	テロリズム研究のための資料収集手引き	215
参考文献		223
索 引		235